

「ファイゾボド郡チャシュマソル地区オチルディ村第66学校建設計画」引渡し式



9月22日、宮下大使は、首都ドウシャンベの約70km東方に位置するファイゾボド郡を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のスキームで実施された学校建設プロジェクトの引渡し式に出席したところ、概要は以下のとおりです。

- 1 このプロジェクトは、これまで義務教育機関が設置されていなかったファイゾボド郡チャシュマソル地区オチルディ村に新たに学校を建設し、同村の教育環境を整備することを目的としたもので、我が区政府が総額90,176米ドルを供与し、ファイゾボド郡によって実施されました。プロジェクトの実施前、児童・生徒らは隣村にある学校に通っていましたが、通学路は急勾配かつ舗装されていない山道であり、冬季は積雪量が多くなるなど、危険と隣り合わせの通学を余儀なくされていました。
- 2 新校舎の内部を視察した宮下大使は、各教室を一つ一つ回りながら児童らと懇談した後、引渡し式に出席し、「これまで学校がなかったオチルディ村で、我が国とファイゾボド郡が協力して、美しく、素晴らしい学校を建設することができ、そして、児童・生徒らが危険な通学をせずに、学校で授業を受けられるようになったことを大変嬉しく思います。この新しい学校が適切に維持、管理され、長く利用されることを期待しています」旨述べたのに対し、ボビショ・クホルゾダ・ファイゾボド郡長からは、日本の支援に対する謝意が表明されました。

